

平成 27年 06月 19日

国土交通大臣 殿

地域型住宅グリーン化事業 適用申請書

本申請書の内容により、地域型住宅グリーン化事業の適用を申請します。
この申請書及び添付資料に記載の事項は、事実と相違ありません。

地域型住宅の名称

西条グリーン住宅

グループの名称

西条市住宅倶楽部

直近採択グループ番号

※過去に地域型ブランド化事業で
採択を受けたグループは記入

(グループ代表者)

代表者名

曾我 政夫

代表者印

代表者所属先

株式会社 曾我工務店

代表者構成員番号

VI-1, VII-1

代表者所在地

愛媛県西条市檜木163-2

代表者電話番号

0897-57-8247

(グループ事務局)

事務局事業者名

株式会社 曾我工務店

事務局構成員番号

VI-1, VII-1

事務局担当者名

曾我 真企

印

事務局郵便番号

793-0065

事務局所在地

愛媛県西条市檜木163-2

事務局電話番号

0897-57-8247

事務局FAX

0897-57-8775

事務局担当者E-mail

masakisoga1127@gmail.com

1. 地域型住宅の名称(必須)	西条グリーン住宅
2. グループの名称(必須)	西条市住宅倶楽部
3. 直近採択グループ番号(必須)	—
4. 地域型住宅供給対象地域(必須)	愛媛県
5. 結成年(必須)	2015 年
6. グループ代表者名(必須)	曾我 政夫
7. グループ代表者の所属先(必須)	株式会社 曾我工務店
8. グループ代表者の構成員番号(必須)	VI-1, VII-1
9. グループ代表者所在地(必須)	愛媛県西条市榎木163-2
10. グループ代表者電話番号(必須)	0897-57-8247
11. グループ事務局事業者名(必須)	株式会社 曾我工務店
12. グループ事務局の構成員番号(必須)	VI-1, VII-1
13. グループ事務局担当者名(必須)	曾我 真企
14. グループ事務局郵便番号(必須)	793-0065
15. グループ事務局所在地(必須)	愛媛県西条市榎木163-2
16. グループ事務局電話番号(必須)	0897-57-8247
17. グループ事務局FAX番号(必須)	0897-57-8775
18. グループ事務局担当者E-mail(必須)	masakisoga1127@gmail.com

(構成員数)		(構成員を含まない理由)
I. 原木供給	1	
II. 製材・集成材製造・合板製造	2	
III. 建材流通(木材を扱わない事業者を除く)	4	
IV. プレカット	3	
V. 設計	1	
VI. 施工	5	
VII. 省エネルギー設備等の流通	7	
VIII. 木材を扱わない流通	4	
IX. I～VIII以外の業種	0	

A. 使用する地域材に関する事項 (必須)	対象となる地域材の名称	地域材の産地	認証制度等の名称		国内・国外
			番号記入欄		
	愛媛県産材	愛媛県	中予地域材認証制度	1	国内

B. 平成27年度における補助対象の木造住宅の申請戸数及び地域材加算申請戸数(必須)	長寿命型(長期優良住宅) 経験工務店+未経験工務店の合計 4 戸		地域材加算合計 2 戸	
	うち経験工務店による長期優良住宅 合計 2 戸	うち未経験工務店による長期優良住宅 合計 2 戸	うち申請が確実 0 戸	うち申請が未確定 2 戸
	うち申請が確実 0 戸	うち申請が未確定 2 戸	地域材加算(うち申請が確実) 0 戸	地域材加算(うち申請が未確定) 2 戸
	うち申請が未確定 2 戸	うち申請が未確定 2 戸	地域材加算(うち申請が未確定) 3 戸	地域材加算(うち申請が未確定) 3 戸
	うち申請が確実 0 戸	うち申請が未確定 3 戸	地域材加算(うち申請が確実) 0 戸	地域材加算(うち申請が未確定) 3 戸
	うち申請が未確定 3 戸	うち申請が未確定 3 戸	地域材加算(うち申請が未確定) 3 戸	地域材加算(うち申請が未確定) 3 戸
C. 平成27年度における補助対象の優良建築物の申請棟数及び床面積(優良建築物を供給するグループのみ必須)	優良建築物			
	うち申請が確実 棟	m ²		
	うち申請が未確定 1 棟	140 m ²		

D. 当提案が採択された場合の各住宅事業者における補助対象戸数の配分ルール(必須)	各事業者が積極的に建てられる体制を作り、次年度につなげられるようグループ内で現場見学・施工勉強会を開ける事業所に分配をする。今年度は長寿命・高度省エネ・ゼロエネルギーとグループ内で特化し合い、話し合いながら分配をしていく。			
---	---	--	--	--

E. 平成26年度の執行状況(H26年度地域型ブランド化事業採択グループのみ必須)	長期優良住宅		完了実績見込み	
	採択戸数 戸	交付申請戸数 戸	竣工済 戸	竣工予定 戸
	木造建築物			
採択棟数 棟	採択床面積 m ²			

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 西条グリーン住宅	(地域型住宅供給対象地域) 愛媛県
2. グループの名称・結成年(必須)	(グループの名称) 西条市住宅倶楽部	(結成年) 2015年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	---	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取り組みに違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。		
ア. 特徴ある地域型住宅の目標設定		
【平成27年度対応方針】		◎、○ 記入欄
①地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の重視する性能	断熱性能を高めQ値1.9以下にする。地域がら掃出し窓が多いため窓の性能をU値2.33を最低基準にする。	○
②地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の建て方や様式	出来るだけ集材材を使わず梁なども地域産の松などを使う。柱などの構造材は地域産の木材とする。基本は在来工法で行う。	○
③地域の気候・風土等に根差した地域型住宅のデザインルール	庇や 雨に配慮した屋根・庇形状にとする。	○
④①～③の背景	愛媛県は温暖な地域に入っているが 夏と冬の 朝と夜の気温差が大きいためしっかりと断熱をし 構造なども地産地消で行えるようにする。	○
⑤その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入		
イ. 効率的な住宅生産体制の整備		
【平成27年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a. ①用材の寸法規格化や建材の統一、標準仕様の設定	プレカット工場などと連携をし 構造材のチェック 内装下地材等も統一を図る	○
②建材・資材調達の見直しや事務の合理化	事務局を通じて連絡を取り合い 出来るだけ少ない流通経路で 参加施工店で取引を行う	○
③生産の合理化等に向けた委員会等の検討実施体制	西条市住宅倶楽部は西条市内の施工店だけで連携をし 物件の進捗に応じて 施工店内で勉強会などを行っていく。	○
④生産の合理化等に向けた事務局の役割	申請・申請補助・施工補助・勉強会を開催。	○
b. ①グループの信頼性向上に向けた施工基準の整備	未施工店は 勉強会を通じて施工店の施工に習い工事を進める。	○
②グループの信頼性向上に向けた検査ルールの設定	グループ内現場見学会を 開催時に参加工務店が検査を行う。日本住宅機構(JIO)の検査を行う。	○
③グループの信頼性向上に向けた見積・積算のルール化	グループ内で大きい価格差が出ない為 提出前に事務局でチェックを行う。	○
④グループの信頼性向上に向けたその他の具体的取組	建物完成時に 一般公開型の 見学会などを行う。	○
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入		

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 西条グリーン住宅	(地域型住宅供給対象地域) 愛媛県
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 西条市住宅倶楽部	(結成年) 2015年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	---	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取り組みに違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。		
ウ. 長期にわたる住宅メンテナンス体制の整備		
【平成27年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a	過去の施工店に習い それを診断・点検の共通とする。保険検査会社などにも習う。	
①住宅履歴情報の共通管理 診断・点検方法の共通化		○
②メンテナンス・リフォーム 基準の整備	未定	
③住まいの管理・DIY相談会 体験会などの実施	施工店ごとに 必要に応じて行う。	○
④グループ内における維持 管理検討委員会等の設置	未定	
b	未定	
①グループ構成員の倒産廃 業時のバックアップ体制		
②グループ独自の瑕疵担保 ルールの整備	未定	
その他 ※上記項目以外でグループ独自 のルール・目標があれば記入		
エ. グループの技術力の向上		
【平成27年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a	事務局を通じ経験工務店が随時勉強会を開催していく。	
①未経験工務店等への施工 技術研修会等の開催		◎
②①の研修会等の実施内容 とその開催頻度	断熱・通気・外皮計算・設備等のそれぞれの進捗状況に応じて開催。	○
③総合的な需給計画の策定 等の中長期的な取組	未定	
④③に基づく業種ごとの合 理化への取組	未定	
b	加入店責任者全員	
①省エネ技術講習会への参 加目標人数		◎
②省エネ技術講習会への参 加促進のための取組	事務局が開催時に合わせて連絡をする	◎
c	未定	
①新たな技術等の導入や開 発の検証のための方法		
②新たな技術等の導入や開 発に向けた実証実験の実 施等	当初取り決めに反しない範囲で 各施工店が事務局に確認の上施工	○
その他 ※上記項目以外でグループ独自 のルール・目標があれば記入		

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 西条グリーン住宅	(地域型住宅供給対象地域) 愛媛県	
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 西条市住宅倶楽部	(結成年) 2015年	
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	---		
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取り組みに違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。			
オ. 地域の産業・住文化・景観等への寄与			
【平成27年度対応方針】		◎、○ 記入欄	
a	①地域材ごとの使用部位(必須)	土台・柱(桧)・梁・胴差し・母屋(桧or杉)	◎
	②地域材ごとの1棟当たりの使用量とその占める割合(必須)	80%以上とする	◎
	地域材利用に関する共通ルール(必須)	愛媛県産材を使用する。	◎
	地域材の流れ(フロー図)などグループの取組に関する補足説明		
b	①地域材の在庫量や価格情報を把握・共有のための仕組み	未定	
	②グループ全体における地域材の需給予測	未定	
c	①-1 畳の活用	一物件に一室は使用する。	○
	①-2 和瓦の活用	物件に合わせて可能な限り使用する。	○
	①-3 襖の活用	物件に合わせて可能な限り使用する。	○
	①-4 障子の活用	物件に合わせて可能な限り使用する。	○
	②その他地域の伝統的な素材や意匠の活用	未定	
d	①地域の伝統的なデザインを継承する取組	未定	
	②地域の住まい方の継承につながる取組	未定	
	③地域の街並み形成へ寄与する取組	未定	
	④和の住まいの要素を取入れた取組	未定	
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入			
【平成27年度対応方針】		◎、○ 記入欄	
東日本大震災の復興に資する取組			
グループが取組む木造住宅・建築物の特徴 ※この項目は、高度省エネ型、優良建築物型を申請するグループのみ記入してください。 ※申請に係る認定低炭素住宅、ゼロ・エネルギー住宅、優良建築物型の性能や特徴等について記入してください。			
省エネルギー設備に頼るのではなく 建物本来の断熱性能・蓄熱性能を高め 断熱性能の最低基準をQ値1.9以下とする。 建物ごとに可能な限り蓄熱性能・調湿性能を高める			

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。